

第1号様式

(第1面)

事業活動脱炭素化取組計画書

(宛先) 川崎市長

郵便番号 211-0021

住 所 神奈川県川崎市中原区木月住吉町1番1号

氏 名 独立行政法人 労働者健康安全機構

理事長 大西 洋英

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策等の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	独立行政法人労働者健康安全機構		
主たる事務所又は 事業所の所在地	川崎市 中原区木月住吉町1番1号		
該当する事業者の要件 及び温室効果ガスの排 出を行う産業、運輸そ の他の部門	<input checked="" type="checkbox"/>	規則第4条第1号該当事業者	業務 部門
	<input type="checkbox"/>	規則第4条第2号該当事業者	部門
	<input type="checkbox"/>	規則第4条第3号該当事業者	部門
	<input type="checkbox"/>	規則第4条第4号該当事業者	部門
主たる事業 の業種	大分類	P	医療、福祉
	中分類	83	医療業
主たる事業 の内容	労働者の健康福祉事業（一般病院等）		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/>	原油換算エネルギー使用量	3,644 kL
	<input type="checkbox"/>	自動車の台数	台
	<input type="checkbox"/>	エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量	t-CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
		電話番号	
		FAX番号	
		メールアドレス	
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計 画 期 間	2025 年度 ~ 2027 年度
事業活動に伴う温室効果ガスの排出の量の削減等を図るための基本方針	別添 指針様式のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減等に向けた組織体制	別添 指針様式のとおり
事業活動に伴う温室効果ガスの排出の量及び当該量の削減に係る事項	別添 指針様式のとおり
エネルギーの使用量及び当該量の削減に係る事項	別添 指針様式のとおり
再生可能エネルギー源の利用及び使用するエネルギーの電化に係る事項	別添 指針様式のとおり
自動車の使用に伴う温室効果ガスの排出の量の削減に係る事項	別添 指針様式のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減等に寄与する技術又は製品の開発等に係る事項	別添 指針様式のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式のとおり
備 考	当機構における環境配慮等の取組みについては、環境報告書にて公表しています。 https://www.johas.go.jp/jyoho/tabid/536/Default.aspx

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 計画書には、事業活動脱炭素化取組指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。

1 事業活動に伴う温室効果ガスの排出の量の削減等を図るための基本方針

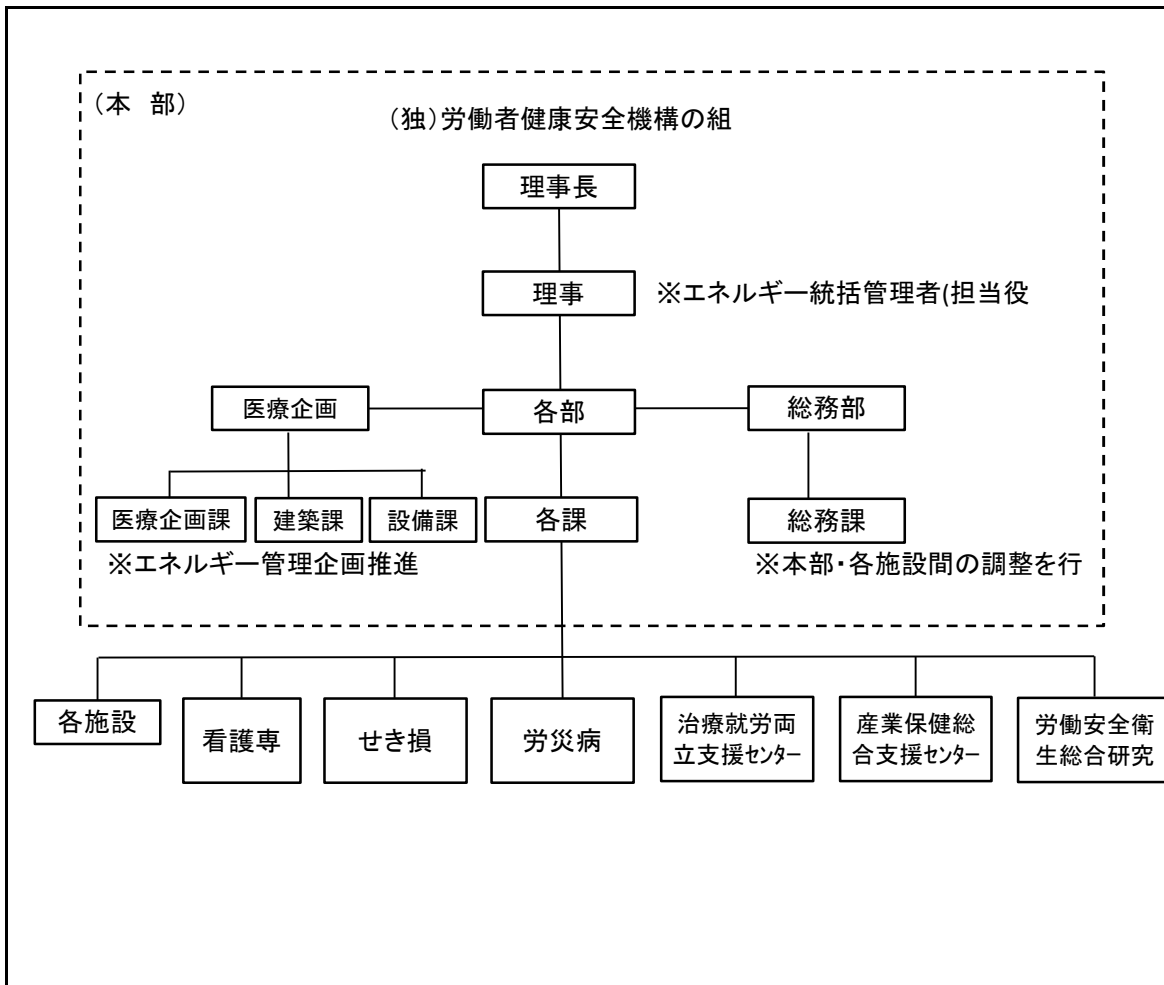
(1) 温室効果ガス排出量の削減等に向けた方針

1. 事業者全体の基本方針
 Webに公表している環境報告書によるほか、以下により積極的な地球温暖化対策を進める。
 (1) 地球温暖化対策に関する取り組みを組織的かつ継続的に推進する。
 (2) 目標を定め、温室効果ガス排出量の削減に取り組む。
 2. 市内事業所の基本方針
 (1) 川崎市内の事業所については、全体の基本方針を踏まえ事業内容等を考慮のうえ活動する。

(2) 削減対策実施状況の適切な進行管理（PDCAサイクル）を行うための方針

以下の方針によりPDCAサイクルを実行・管理する。
 (1) 当機構の温室効果ガス排出抑制のための実行計画（平成21年 1月30日制定）に基づき、エネルギー管理委託業者と共に排出量削減に向け月別に目標を設定し、年間トータルの計画を策定する。
 (2) 熱効率を最適に保つため、熱源機器のチューニングを実施する。

2 温室効果ガスの排出の量の削減等に向けた組織体制



3 事業活動に伴う温室効果ガスの排出の量及び当該量の削減に係る事項

(1) 計画期間の温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量等

ア 基準排出量と目標排出量((基)は基礎排出量を、(調)は調整後排出量を示す。以下同じ。))

		1、2号該当者		3号該当者		4号該当者	
基準	年度	2024	年度	2024	年度	2024	年度
目標	年度	2027	年度	2027	年度	2027	年度
基準排出量 (t-CO ₂)	(基)	6,720		(基)			(基)
	(調)	6,718		(調)			(調)
目標排出量 (t-CO ₂)	(基)	6,518		(基)			(基)
	(調)	6,516		(調)			(調)
削減量 (t-CO ₂)	(基)	202		(基)			(基)
	(調)	202		(調)			(調)
削減率	(基)	3.0	%	(基)	%	(基)	%
	(調)	3.0	%	(調)	%	(調)	%

イ 温室効果ガスの排出の量の実績

		1、2号該当者		3号該当者		4号該当者	
第1年度	(2025年度)	排出量 (t-CO ₂)	(基)	(基)	(基)	(基)	
			(調)	(調)	(調)		
		削減量 (t-CO ₂)	(基)	(基)	(基)	(基)	
		(調)	(調)	(調)	(調)		
		削減率	(基) %	(基) %	(基) %	(基) %	
			(調) %	(調) %	(調) %	(調) %	
第2年度	(2026年度)	排出量 (t-CO ₂)	(基)	(基)	(基)	(基)	
			(調)	(調)	(調)		
		削減量 (t-CO ₂)	(基)	(基)	(基)	(基)	
		(調)	(調)	(調)	(調)		
		削減率	(基) %	(基) %	(基) %	(基) %	
			(調) %	(調) %	(調) %	(調) %	
第3年度	(2027年度)	排出量 (t-CO ₂)	(基)	(基)	(基)	(基)	
			(調)	(調)	(調)		
		削減量 (t-CO ₂)	(基)	(基)	(基)	(基)	
		(調)	(調)	(調)	(調)		
		削減率	(基) %	(基) %	(基) %	(基) %	
			(調) %	(調) %	(調) %	(調) %	

(2) これまでの取組における温室効果ガス排出の量の削減目標等

比較年度	1、2号該当者		3号該当者		4号該当者	
	2013	年度	2013	年度	2013	年度
比較年度排出量 (t-CO ₂)	(基) (調)	7,265 6,368	(基) (調)		(基) (調)	
目標排出量 (t-CO ₂)	(基) (調)	6,518 6,516	(基) (調)		(基) (調)	
削減率(目標)	(基) (調)	10.3 % -2.3 %	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %
削減率(第1年度)	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %
削減率(第2年度)	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %
削減率(第3年度)	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %

(3) 目標設定に関する説明

当機構の環境配慮への方針及び省エネ法の趣旨を踏まえ、3年間で3%の省エネルギー、CO2排出量削減の達成に向けて各目標を設定した。

(4) 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況及び措置の状況等

(計画には、計画期間内に実施する温室効果ガスの排出量の削減に向けた措置の内容を事業活動脱炭素化取組指針の別表第1から6等を参考に記載してください。)

計画	①温室効果ガス排出量削減対策推進に係るエネルギー管理組織の維持、強化 ②空調熱源等設備の適切な管理に資する基準類の見直し、改定 ③管理標準の活用によるコジェネレーション設備の高効率運転維持 ④照明点灯によるエネルギー削減のため、病院等利用者に配慮しつつ人感センサ、減光装置などの設置	
第1年度		
第2年度		
第3年度		
計画期間における排出量の増減等についての評価 (第3年度の報告時に記載)		
上記評価を踏まえた改善対策など (第3年度の報告時に記載)		

4 エネルギーの使用量及び当該量の削減に係る事項

(1) エネルギーの使用量に係る原単位等の値(1、2号該当者)

原単位等の活動量		建物延床面積	原単位等の単位			kl/m ²
		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度
エネルギー消費等の原単位値	0.05068					0.04917
活動量の値	71,888					71,888
エネルギー消費等の削減率			%	%	%	3.0 %

(2) 温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値(4号該当者)

原単位等の活動量			原単位等の単位			
		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度
排出量原単位等の値						
活動量の値						
排出量原単位等の削減率			%	%	%	%

(3) 目標設定に関する説明

当機構の環境配慮への方針及び省エネ法の趣旨を踏まえ、3年間で3%の省エネルギー、CO2排出量削減の達成を目標とした。

(4) 基準年度からの原油換算エネルギー使用量等の推移 (1、2号該当者)

ア 事業者単位

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
原油換算エネルギー使用量	3,644 kL	kL	kL	kL
エネルギー起源CO ₂ 排出量	6,720 t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂
事業所の数	5			

イ 事業所単位

基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kL 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量《クレジット考慮》 (t-CO ₂)			
		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
関東労災病院	川崎市中原区木月住吉町1番1号	4,971			

(5) 計画期間のエネルギー消費原単位等の状況及び措置の状況等

(計画には、計画期間内に実施するエネルギー消費原単位の改善、エネルギー使用量の削減等に向けた措置の内容を事業活動脱炭素化取組指針の別表第1から6等を参考に記載してください。)

計画	①温室効果ガス排出量削減対策推進に係るエネルギー管理組織の維持、強化 ②空調熱源等設備の適切な管理に資する基準類の見直し、改定 ③管理標準の活用によるコジェネレーション設備の高効率運転維持 ④照明点灯によるエネルギー削減のため、病院等利用者に配慮しつつ人感センサ、減光装置などの設置			
第1年度				
第2年度				
第3年度				
計画期間におけるエネルギー消費原単位等についての評価 (第3年度の報告時に記載)				
上記評価を踏まえた改善対策など (第3年度の報告時に記載)				

5 再生可能エネルギー源の利用及び使用するエネルギーの電化に係る事項(1、2号該当者)

(1) 再生可能エネルギー源等の導入

ア 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入(基準年度)

種	類	設備規模 (kW)	発電量 (kWh/年)	余剰売電量 (kWh/年)	導入(保有)年度
太	陽	光			
風		力			
バ	イ	オ			
		マ			
		ス			
		(燃料:)			
そ	の	他			
		()			
そ	の	他			
		()			
合		計	0	0	

イ 使用電力の再生可能エネルギー電源比率

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度
電力エネルギー 消費量	9,769,961 kWh	kWh	kWh	kWh	9,476,862 kWh
再エネ電源等	489,005 kWh	kWh	kWh	kWh	503,675 kWh
再エネ電源比率	5.0 %	%	%	%	5.3 %

(2) 電気事業者等から調達する電力の排出係数

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度
排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	0.389				0.377

(3) 使用エネルギーの電化の取組

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度
電化の割合	59.7 %	%	%	%	61.5 %

(4) 目標設定に関する説明

<p>当機構の環境配慮への以下の方針及び省エネ法の趣旨を踏まえ、3年間で3%の省エネルギー、CO₂排出量削減の達成に向けて各目標を設定した。</p> <p>(1) 電力購入契約において温室効果ガス排出量削減に配慮</p> <p>(2) 照明器具をLED化し電力使用量を削減</p> <p>(3) ESCO事業の活用による省エネルギー化の推進</p> <p>(4) 増改築設計における環境配慮型プロポーザル方式による設計者の選定</p>
--

(5) 計画期間の再生可能エネルギー源等の導入、電気事業者等から調達する電力の温室効果ガス排出係数等の状況

計画	令和 5 年度環境報告書にて表明のとおり、電力購入契約においては温室効果ガス排出削減に配慮し、さらなる環境負荷の低減に勤める。	
第 1 年度		
第 2 年度		
第 3 年度		
計画期間における再生可能エネルギー源等の導入等の評価 (第 3 年度の報告時に記載)		
上記評価を踏まえた改善対策など (第 3 年度の報告時に記載)		

7 温室効果ガスの排出の量の削減等に寄与する技術又は製品の開発等に係る事項

(1) 全社を含む取組

ア 脱炭素表明・中長期の温室効果ガス削減目標の設定

項目	計画	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度
(ア) 脱炭素に向けた表明の有無				
有無	上記目標等の設定なし			
内容				
(イ) 脱炭素に向けた表明の達成年度の目標				
年度	年度	年度	年度	年度
(ウ) 中間目標				
目標	年度	年度	年度	年度
	%削減 ()年度比	%削減 ()年度比	%削減 ()年度比	%削減 ()年度比

イ 脱炭素化に資するイノベーションの取組

項目	計画	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度
有無	取組実績なし			
内容				

ウ 中長期的な視点での温室効果ガスの排出量の削減目標

項目	計画	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度
有無	無			
内容				

エ 二酸化炭素を排出しない熱エネルギーの導入

項目	計画	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度
有無	導入なし			
内容				

オ SBT等イニシアチブへの加盟・賛同

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
SBT	該当なし			
RE100	該当なし			
REAction	該当なし			
TCFD	該当なし			

カ サプライチェーン全体での削減の取組

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
有無	記載なし			
内容				

(2) 市内事業所の取組

ア 川崎CNブランドの認定の取得

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
有無	製品・技術等の利用なし			
認証年度				

イ 川崎メカニズム認証制度の認証の取得

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
有無	取得なし			
認証年度				

備考 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。

8 地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項（3から7までの事項を除く。）

（各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に（追加実施）と記載してください。）

<p>目標年度までの計画</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. グリーン調達（環境物品等）を推進する 2. E S C O事業を活用する 3. 施設の建設時は、環境負荷のより少ない資機材, 工法, 高効率機器, 設備システムを採用する 4. 既存施設においては、冷暖房の適正な温湿度管理を行う 5. 敷地内の緑化を推進する 6. 廃棄物処理は諸法令等を厳守し適正に行う
<p>第1年度</p>	
<p>第2年度</p>	
<p>第3年度</p>	